

条件 (1/2)

- (if 条件 条件が真の時に評価される式 偽の時に評価されるオブジェクト)

例 (if (oddp 1) 'odd 'even) ⇒ ODD
(if (oddp 2) 'odd 'even) ⇒ EVEN
(if nil 'happy) ⇒ NIL
(defun my-abs (x)
 (if (< x 0) (- x) x))

32

条件 (2/2)

- (cond (条件1 条件1が成り立つ時に評価されるオブジェクト)

(条件2 オブジェクト2)

.....
(条件n オブジェクトn))

全体の値は評価されたオブジェクトの結果.
どの条件も成り立たなければNIL.

例 (defun compare (x y)
 (cond ((= x y) 'same)
 (< x y) 'first-is-smaller)
 (t 'first-is-bigger)))

33

条件の真偽

条件の真偽は,
NIL(偽)
または
NIL以外(真)
で決定する

34

AND と OR

- AND - 引数を左から順々に評価していき, NILとなった段階で評価を止め, NILを返す. すべてがNILにならないければ, 最後の値がAND全体の値となる.
- OR - 引数を左から順々に評価していき, NIL以外の値となった段階で評価を止め, その値を返す. 評価する引数がなくなったらNILを返す.

35

- (and 'george nil 'harry) ⇒
- (and 1 2 3 4 5) ⇒
- (or nil t t) ⇒
- (or 'george nil 'harry) ⇒

36

演習プリント2